

多文化共生ひろば

問合せ 秘書広報課 多文化共生・交流係
(☎ 27-8240)

このコーナーでは、宇佐市の外国人住民や支援者、市の取り組みなどについてご紹介します。みんなが暮らしやすい多文化共生社会を作るためにまずは知ることから始めませんか。

私がミャンマーから日本に来て1年になりました。来日したばかりの頃は、文化も言葉も違うので困ったことがたくさんあり、自分の能力が足りていないと感じていました。そのため、日本語の勉強を続けようと思っていた時、会社の社長と奥さんの紹介で宇佐の日本語教室を知りました。

クラスには日本人の先生たちとさまざまな国の友達がいて、たくさんのことを見ました。日本人の先生から日本語を習うことで早く上達でき、前より知識が増えました。今まで知らなかった文化や言葉も分かるようになって、読解と聴解のスキルが上がりました。また、日本語教室の先生たちのおかげで宇佐市のいろいろな祭りに参加できました。みなと祭りの花火大会にも参加しましたが、私にとっては初めての花火大会だったので本当にうれしかったです。



名前 ウー ウー ピョー
6060さん 国籍 ミャンマー
職場 清松総合鐵工株

お便りをくれた方



農泊家庭のおすすめレシピに
チャレンジ！

\ check! /



問合せ / 健康課 健康増進係 (☎ 27-8137)

今回は、農泊家庭のおすすめレシピをご紹介します。農泊では、受入家庭と一緒に地元食材を収穫して、料理し、味わう一連の体験を行います。体験することで食への理解が深まり、食材や生産者への感謝の心に気付くことができます。



レシピ紹介：ゆずりはの里（安心院町笠ノ口）佐藤美代子さんより

簡単ヘルシーおかなり

- 材料（4人分）
- 生おから 100g
 - 玉ねぎ 1/8 個
 - きゅうり 1/2 本
 - ニンジン 1/4 本
 - ツナ缶 40g
 - A マヨネーズ 大さじ3
 - 合わせ酢（※） 大さじ2
 - 味付いなりあげ (1/2 カット) 8枚

※穀物酢（大さじ3）、水（大さじ3）、砂糖（大さじ3）、塩（小さじ1）を鍋でひと煮立ちさせて作ります（作りやすい分量で記載。市販でも可）。

【1】おからは電子レンジ（600W）で3分加熱する（フライパンで乾煎りしてもよい）。

【2】玉ねぎは千切りにして水にさらし、水気を絞る。きゅうりは千切りにして塩もみし、5分ほどおいて水気を絞る。ニンジンは千切りにしてゆで、水気を絞る。

【3】ボウルに1と2、ツナ缶（汁ごと）、Aを入れて混ぜる。

【4】味付いなりあげに3を詰める。

☆市ホームページでは、さらに詳しい作り方や他の農泊家庭のおすすめレシピも紹介しています。

市長コラム

小藩分立 その3

宇佐市長 是永修治

今月は幕府領（天領）からです。大分県の天領と言えば日田が有名ですが、江戸時代、日田には九州支配の要として代官所が置かれました。その後、前回説明したように、中津藩分割により4万石が加わり、10万石を超えたことから西国郡代に昇格しています。

宇佐市での大まかなエリアは高家・八幡の一部、柳ヶ浦、駅館、四日市、麻生、横山の一部、院内および南院内の一帯（エリ

ア図・図2）などです。政治の中心としてさんざん館一帯に四日市陣屋が、年貢米運送の拠点として中須賀村に浜蔵所が置かれました。日田から宇佐へは他大名の領地を通りなく往来できました。穀倉地帯と海上拠点を兼ね備えた宇佐の地を得るために、幕府が小笠原氏に分割させたのではないかと勘織りたく

もあります。

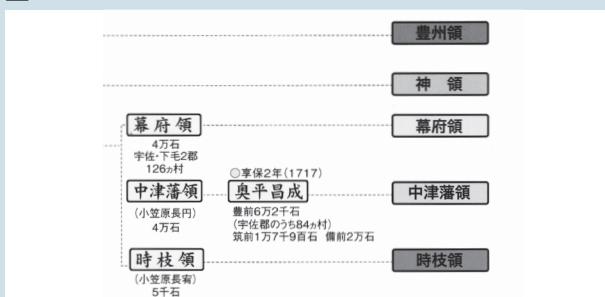
次は時枝領です。前回説明したように、小笠原氏失政に伴う分割により旗本時枝領5千石が誕生したのです。旗本とは江戸幕府の直臣中、知行高1万石未満で、將軍に謁見できるものを指します。歴代領主は江戸屋敷に居て現地には目代（家老）を派遣。下時枝に陣屋、布津部に藏役所が置かれました。

宇佐市でのエリアは時枝、猿渡、元重、末、黒、山袋、木部、荒木、山下（エリア図・図3）と点在しております、このうち荒木、山下は一つの村を複数の領主が分割支配する「相給」（次回説明）でした。このほか三光村にも領地がありました。続く。

もっと詳しく！市長コラム

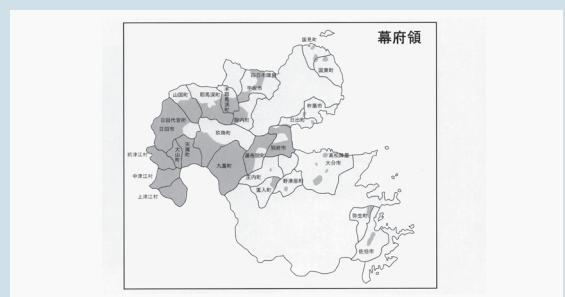
今回の市長コラムについて「近世宇佐郡領域支配の変遷（変遷図）〈図1〉」「知ってるつもり？小藩分立（エリア図）〈図2・3〉」を使って解説します。

図1



『新・宇佐ふるさとの歴史』付属資料 参照

図2



大分県立先哲史料館『知ってるつもり？小藩分立』参照

図3



大分県立先哲史料館『知ってるつもり？小藩分立』参照



図1は、江戸時代の宇佐郡の藩主や領地の変遷を示した図です。
図2は、江戸幕府が直接領有していた土地を示した図です。
図3は、旗本小笠原氏が分割により領有していた土地を示した図です。